

サンセイランディック大阪便り Vol.28

平成26年4月号

不動産
よもやま

【公示地価】

麗らかな暖かい日が続き、「春眠暁を覚えず」と言いますが、ウトウトもしてられない4月になりました。忙しい年度末を終え、新たな気持ちで新年度を迎えた方、新生活が始まった方、出会いあり別れあり、新しい環境へ心と身体を慣れさせる事に大変な方もいらっしゃるのではないのでしょうか…。

そんな折ですが、我々不動産業者にとってはモチベーションの上りそうな、ちょっとだけ景気の良い話です。「公示地価」、今年も例年通り3月下旬に発表がありました。東京、大阪、名古屋の三大都市圏（全用途）では前年比0.7%アップとリーマンショック前の2008年以来、6年ぶりにプラスに転換し、全国平均でも0.6%ダウンとはなったものの、下落幅は年々縮小傾向となっています。大阪市内では意外にも、グランフロント大阪のある北区や、あべのハルカスができた阿倍野区を抑えて、西区、天王寺区がともに6.0%アップと好調のようです。この要因は、両区の需要が「オフィス」から「マンション」に移行している事が挙げられるようで、特に西区では阿波座駅、西長堀駅周辺を中心に、天王寺区では谷町筋沿い等が人気だそうです。

お隣の兵庫県では、全体的には地価は下落したものの、やはり下落率は縮小。人気のある阪神間の南部は上昇したのに対し、但馬などの山間部での下落に歯止めがかからず、このような結果になってしまったそうです。

アベノミクス効果、低金利、景況感の改善を背景に、個人やファンドによる投資用不動産への需要の回復、東京オリンピック熱などが大都市圏の上昇に弾みをつけた印象もあります。

東日本大震災の被災地の地価も上昇傾向と聞きます。このまま良い流れに乗って、今月からの消費税増税が、「喉元過ぎれば…」と思えるような、景気回復に向かえば良いなあと考えております。

社員の 独り言

春爛漫といった感じの今日この頃、この前迄の冬の寒さを忘れてしまいそうですが、全国的に雪が降る

日も多く、とても厳しい冬だったと思います。そのせいでしょうか、おそらくですが私が記憶している限り、人生初めてインフルエンザに感染しました。何しろ感染した事がなかった為、「俺、ならんタイプかも。」と調子に乗っていたら、まんまとかかりました。何日か具合が悪かったのですが、熱が出ている訳でもなく、とある病院で「ただの風邪ですね。」と診断を受けた日の深夜にモーレツに熱が上がり、その翌日に検査を受けて、改めてB型インフルエンザであることが発覚。平熱が35度台の私としては、原因不明などと言われたらどうしようかと思いましたが、正直インフルエンザと聞いてちょっと安心した次第です。

ただ、身体の節々の痛さといったら無かったです。風邪を引くと筋肉痛の様な痛みを感じる事がありますが、あれを数倍にレベルアップした感じ。また痛みのせいで同じ姿勢を取り続けるのが辛く、眠れたとしても背中が痛くてすぐに目が覚めてしまったり…寝たきりで動けない患者さんの気持ちがほんの少しわかったような気がしました。

というわけで、私はインフルエンザにより丸5日間（うち休業日2日含む）、寝たきり生活を送りました。次の流行のシーズン前には予防接種をこれまた初体験してみようかと。皆様もお気を付け下さいね。



証券コード：3277

底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 大阪支店

〒550-0012 大阪市西区立売堀 1-2-14 本町産金ビル 9F

TEL：06-6532-8830 FAX：06-6232-8831

底地くん

